

星屑

June' 03

No. 339



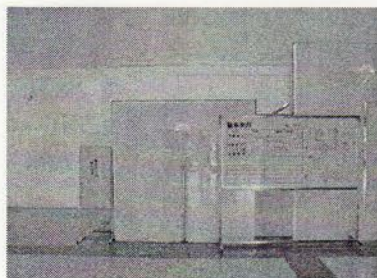
通常総会記念写真

2003. 5. 11

熊本県民天文台

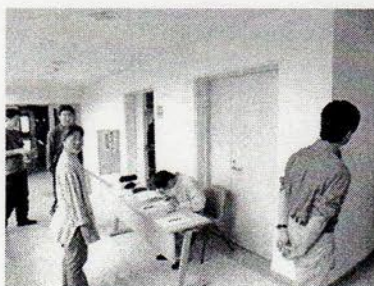
天文台総会報告

5月11日、天文台の総会が開催されました。今回の総会は、NPOになって最初の総会でした。会員の皆様には、総会に出席して頂くか、欠席の場合、委任状を出して頂くことになっておりました。御出席頂いた方、委任状を出して頂いた方、有り難う御座いました。無事、定数を満たし、総会は成立致しました。



日曜の昼間、今日は昼のイベントが無いので、文化センターは閑散としていました。準備のパネルに矢印等を張り付けているところです。

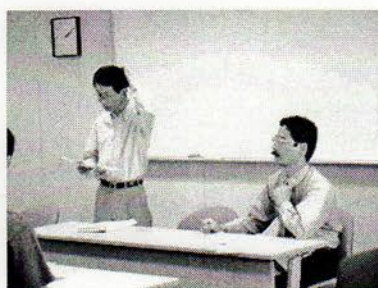
真ん中の写真と右の写真は、準備の為少し早めに着き、荷物の搬入や会場設営を行っているところの写真です。中島副台長の元で、机を並べ替えをしました。あちこち指示が出て、要領が悪いと叱られながらの作業でした。職業柄、手慣れてらっしゃいますね。その後、総会の資料をみんなでファイルして・・・皆、手際いいですね。



受付です。ここで、名前を書いて、資料をもらって、会費を払います。領収書を書くのは一人でされていたので大変そうでした。早々と、受け付けを済ませた方々は、長椅子で雑談です。T氏のお嬢様も、パパにおんぶで御機嫌でした。



会場の様子です。艶島台長挨拶や来賓の小林町長挨拶の様子です。総会の内容は、同封の資料をご覧ください。



質疑応答の様態です。
各担当者の細かい説明が行われました。



総会終了時、恒例となっている記念写真です。御来場頂いた皆様です。皆様ご苦労様でした。

下の写真は、総会終了後の懇親会の様態です。みんなとってもお茶目さんです。



熊本県民天文台 2002年度（平成14年度）業務報告

活動実績（主な行事）

任意団体

2001.02.09	杉上小5年生とPTAの観望会、約40名、電子紙芝居で解説
02.23	松橋町、当尾小学校観望会、生徒80名、大人30名
03.03	夏の20周年事業「スターウィーク城南」に向けうち合わせ
03.08	豊田小学校観望会、30名、池谷一彗星や土星に歓声！
	年度末から、「上方光束ゼロ」防犯灯の設置始まる
05.05	西の空に惑星直列でにぎわう、マスコミの影響大
05.11	火の君文化センターで「五嶋みどりリサイタル」のチケット抽選会 20周年事業に向け準備作業が進む
05.12	通常総会、小惑星に「城南」「清和」「龍ヶ岳」「中島」など命名し発表
05.24	城南中科学部とその保護者（計17名）で観望会
05.26	九州東海大の白鳥先生に協力して冷却CCDカメラの撮影テスト 球状星団M13の撮影に成功
06.08	「スターウィーク城南」のイベントについての準備と打ち合わせ
07.	「スターウィーク城南」開始。文化センターでKAGAYA星のイラスト展始まる
07.06	「星空寄席」開催、満席の盛況だった
07.07	七夕観望会、お天気は悪いのに40名来台。城南町の防犯灯が朝日新聞に記事
07.16	城南中から「わくわくリサーチ」で「星空の見えるまちづくり」の取材
07.18	時事通信社から「星空の見えるまちづくり」の取材
07.20	20周年記念式典、天文講演会「ほくたちは星のかけら」開催。星空を守る会と インターナショナル・ダークスカイ協会から表彰状。天文台で発見した小惑星に 「JONAN（城南）」と命名、「清和」「龍ヶ岳」なども命名し発表した
07.21	「城南町子どもフェスティバル」開催、天文台として参加
07.23～24	「城南町夏祭り」、広場で「電子紙芝居」を上演、民話が人気だった
07.26	五嶋みどりさんが来台し大望遠鏡で星空探訪
07.27	「五嶋みどりリサイタル」開催、運営委員の長谷勇治氏が交通事故のため死去
07.28	ボーイスカウト15分団30名で観望会
07.29	八代市昭和小25名の観望会
08.03	御船町の恐竜博物館から「お泊まり博物館」事業で62名の天体観望会 電子紙芝居「恐竜と星空」を制作し上演、大好評だった
08.10	城南町歴史民俗資料館から学芸員実習生と受講生合わせて8名 清和村で九州スターフェスタ開催、電子紙芝居「星空の見えるまちづくり」上演
08.12	ペルセウス座流星群極大、熊本県主催の「星降る夜空」観望会、100名
08.	NPO法人設立へ、準備作業開始
09.06	宇土市網田小学校で星を見る会開催、75名
09.14	NPO法人設立へ理事会を開催し討議
09.14	城南中1年1組の「星の観察会」40名
09.29	くまもと県民交流館バレアでNPO設立について相談
10.26-27	北九州市で「九州環境ボランティア会議」開催、天文台から参加
10.27	火の君祭り、電子紙芝居でDVDを製作、繰り返し上映
10.	天文台のスライディングルーフ（移動屋根）の塗装工事、望遠鏡の整備作業

- 11.09 熊本県主催「星空探訪」観望会、48名。お天気が良くて多くの天体を見た
- 11.10 熊本県民天文台臨時総会、NPO法人設立総会を開催。設立認証申請を熊本県に提出
- 11.14 申請書類の事前チェックが完了、NPO法人「設立認証申請」が「受理」された
- 11.21 小惑星8301番に「HASEYUJI（長谷勇治）」と命名
- 12.14 天文台の大掃除。会員の工藤哲生氏がこの夜「新彗星」を発見!!
- 2003.01.11 運営委員会、NPO法人の設立登記準備、NPOギャラリー2003、設立記念・工藤氏の新彗星発見記念パーティー、などについて決定
- 01.15 2月1日の県環境センターでのスターウォッチングについて打ち合わせ
- 01.19-20 建物登記関連書類の作成
- 01.22 電話転送（ボイスフープ）を申し込み、設定。昼間の問い合わせへの対応強化
- 01.24 澄み切った快晴、日没後の西の空にニート彗星が見える
- 01.30 デジカメ撮影テスト（SONY機で木星、M42、他）
- 02.01 熊本県環境センター（水俣市）でスターウォッチング、講師として参加
- 02.03 NPO法人設立が熊本県から「認証」された
- 02.04 NPO法人の設立を登記。特定非営利活動法人熊本県民天文台が誕生した
- 02.10 天文台の建物の所有権保存登記・所有権移転登記が完了した
- 02.27 第13回熊本県民文化賞の受賞が決定（地域文化活動部門）

2002年度は、「城南町での上方光束ゼロ」型防犯灯の採用が進み、「星空の見えるまちづくり」の活動が大きく進展しました。また、天文台の設立20周年の節目の年にあたり、火の君総合文化センターや文化センターの運営ボランティアの皆さんとの連携が進みました。天文台会員の中にも地域と連携した活動をより一層広げようという気運が高まり、20周年記念事業を「スターウィーク城南」という一連のイベントとして繰り広げることになりました。

1. 20周年記念事業「スターウィーク城南」

星空体験学習、KAGAYA星のイラスト展示、星空寄席、天文講演会、夏祭り（電子紙芝居）、城南町子供フェスティバル、五嶋みどりリサイタル、天文台の一般公開など多彩なイベントを地域との連携で繰り広げ、多数の参加者を得、「星空」を軸とした幅広い文化活動になりました。

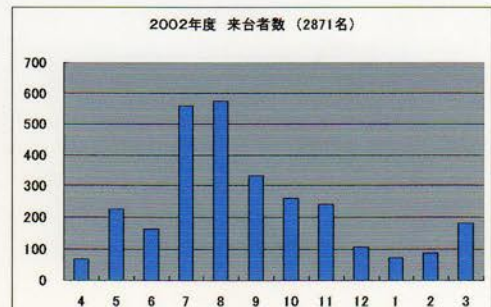
2. 「星空の見える町づくり」

「上方光束ゼロ」型防犯灯の大量導入が実現し、城南町などと共に全国で初めて国際ダークスカイ協会と星空を守る会から感謝状の贈呈を受けました。光害を環境やエネルギーの問題として捉えた取り組みは高く評価され注目されています。

3. 来台者数

2002年4月～2003年3月

総数 2871名



特定非営利活動法人 熊本県民天文台
収支決算書

平成15年2月4日から平成15年3月31日まで
(特定非営利活動に係る事業)

科 目	金 字 算 額	備 考
I 事業活動収入		
1 会費収入	4,000	正会員2名加入
2 事業収入		
①一般公開事業収入	41,400	NPOギャラリー事業
②星空の見えるまちづくり事業収入		
③会誌等発行事業収入		
3 補助金収入		
経常収入合計	45,400	
II 事業活動支出		
1 事業費		
①一般公開事業費	41,400	NPOギャラリー事業
②星空の見えるまちづくり事業費		
③会誌等発行事業費	59,111	
2 管理費		
①会議費		
②消耗品費	5,229	
③光熱水費	21,976	
④通信費	16,241	
⑤備品費		
⑥修繕費		
⑦負担金		
⑧雑費		
3 予備費	305,763	不動産登記等
事業活動支出合計	449,720	
事業活動収支差額 (A)	-404,320	
III その他収入の部		
1 くまもと県民文化賞副賞	100,000	
その他収入合計	100,000	
IV その他支出の部		
その他支出合計		
その他収支差額 (B)	100,000	
当期収支差額 (A) + (B)	-304,320	
設立時資金有り高	4,718,732	
次期繰越収支差額	4,414,412	

上記のとおり決算報告します。

平成15年 4 月 28 日

台長 艶島敬昭

理事 小林昌樹

上記のとおり相違ないことを認めます。

平成15年 5 月 8 日

監事 元島 威

特定非営利活動法人熊本県民天文台 2002年度（平成14年度）業務報告 活動実績 （主な行事）

2002年度（平成14年度）は、2003年（平成15年）2月4日の特定非営利活動法人の設立により、年度途中でのスタートとなりました。設立までの経過と設立後の主な活動は次の通りです。

2001.05	熊本県民天文台（任意団体）の総会においてNPO法人設立を検討する提案
08.	NPO法人設立へ、準備作業開始
09.14	NPO法人設立へ理事会を開催し討議
09.29	くまもと県民交流館パレアでNPO設立について相談
11.10	熊本県民天文台臨時総会、NPO法人設立総会を開催。議事録や定款など関係書類をとりまとめ、設立認証申請を熊本県に提出
11.14	申請書類の事前チェックが完了、NPO法人「設立認証申請」が「受理」された
2003.01.11	運営委員会、NPO法人の設立登記準備、NPOギャラリー2003、設立記念・工藤氏の新彗星発見記念パーティー、などについて決定
01.19-20	建物登記関連書類の準備
01.22	電話転送（ボイスフープ）を申し込み、設定。昼間の問い合わせへの対応強化
02.03	NPO法人設立が熊本県から「認証」された
02.04	NPO法人の設立を登記。特定非営利活動法人熊本県民天文台が誕生した
02.06	法人の登記簿謄本取得、監督諸官庁へ届出提出
02.07	NPO法人として天文台の一般公開を開始
02.10	NPO法人設立・工藤氏新彗星発見 記念パーティーを開催 天文台の建物の所有権保存登記・所有権移転登記が完了
02.	定期預金・普通預金を任意団体より引き継ぎ、法人名で口座を開設
02.22-25	パレアでのNPOギャラリー開催 製作したポスター、KAGAYAイラストの展示と「電子紙芝居」の上演 出展したNPO団体にも好評。来場した養護学校生も大喜びだった
02.27	第13回くまもと県民文化賞の受賞が決定（地域文化活動部門）
03.03	岡山県美星町での、「星空国際交流ワークショップ」に参加
03.19	第13回くまもと県民文化賞授賞式（県庁5F、知事応接室にて）

2002年度は、「城南町での上方光束ゼロ」型防犯灯の採用が進み、「星空の見えるまちづくり」の活動が大きく進展しました。また、天文台の設立20周年の節目の年にあたり、火の君総合文化センターや文化センターの運営ボランティアの皆さんとの連携が進みました。天文台会員の中にも地域と連携した活動をより一層広げようという気運が高まり、20周年記念事業を「スターウィーク城南」という一連のイベントとして繰り広げました。

20周年事業が成功裏に終わると、NPO法人設立のための活動が始まり、11月10日の設立総会、1

1月14日の設立認証申請受理の後、2ヶ月間の縦覧期間などを経て、2003年2月3日「設立認証」の指令書が交付され、翌2月4日にNPO法人設立を登記して、無事NPO法人設立に至りました。
2月4日以降の主な事業報告

1. 一般公開事業

天文台の一般公開は、NPO法人設立後も従来通り週末の金曜・土曜・日曜の晴れた夜、19時から22時まで開催されています。今年は、あいにく週末に周期的にお天気が悪くなる傾向にあって、3月末までの一般公開の来台者数はさほど伸びていません。

実績については、来台者数のグラフを参照してください。

2. 会誌等発行事業

2月、3月とも、会誌の発行を行い（各号120部、計240部）、会員への配布を行いました。
会誌の会員以外への販売については取り組み方法を検討中です。

3. 「星空の見える町づくり」事業

城南町での「上方光束ゼロ」型防犯灯の大量導入は、全国で初めての地域住民レベルの取り組みとして注目を集めています。3月3日には、光害対策を基軸に「小さな国際都市づくり」を目指す岡山県美星町で、計画策定のためのワークショップが開催され、全国の先進的な天文台などと共に、県民天文台からは台長の艶島がスピーカー（提言者）の1人として招かれ、「海外での光害事情」について報告・発表しました。その中で、城南町における「上方光束ゼロ防犯灯」の採用例を「アジアに受け入れられそうな成功例」として紹介しました。これは、国際ダークスカイ協会日本セクションと連携しての活動です。（参加者18名）

4. 来台者数

2003年2月4日～3月末日

2月	87名
3月	181名
総数	268名

5. その他

第13回くまもと県民文化賞の受賞

NPO法人設立直後の2月27日、熊本県文化企画課から、熊本県民天文台の長年にわたる地域文化への貢献が認められ、くまもと県民文化賞を受賞することが決定した、と連絡をいただきました。地域文化活動部門での受賞です。

授賞式は、3月19日（水）、熊本県庁5F知事応接室にて行われ、天文台からは台長及び宮本名誉台長が出席しました。

平成14年度 熊本県民天文台会計報告

(単位:円)

	収入	支出	残額	備考
金額(円)	2,539,433	851,354	1,688,079	特定非営利法人熊本県民天文台に寄付

収入の部	予算額	決算額	増減	備考
繰越金	1,944,289	1,944,289	0	
会費	600,000	476,000	-124,000	
寄付金	30,000	111,096	81,096	寄付・募金箱等
その他	1,000	8,048	7,048	預金利子等
合 計	2,575,289	2,539,433	-35,856	

支出の部	予算額	決算額	増減	備考
会議費	30,000	2,100	-27,900	総会会場借り上げ
事業費	400,000	232,078	-167,922	
会誌費	250,000	142,405	-107,595	星屑印刷、郵送、写真代等
その他	150,000	89,673	-60,327	20周年式典・旅費等
消耗品費	50,000	53,278	3,278	事務用品代等
光熱水費	50,000	54,353	4,353	電気、水道、LPガス
燃料費	5,000	0	-5,000	
役務費	150,000	128,573	-21,427	
通信連絡費	140,000	121,673	-18,327	電話代、インターネット接続料
その他	10,000	6,900	-3,100	ボランティア保険料
備品購入費	150,000	73,626	-76,374	プリンタ
修繕費	300,000	280,596	-19,404	屋根塗装代
原材料費	50,000	0	-50,000	
負担金	10,000	10,000	0	日本天文学会会費
雑費	20,000	16,750	-3,250	火災保険料、花代等
予備費	1,360,289	0	-1,360,289	
合 計	2,575,289	851,354	-1,723,935	

上記のとおり決算報告します。

平成15年4月28日

台長 艶島敬昭

会計 小林昌樹

上記のとおり相違ないことを認めます。

平成15年5月8日

会計監査 元島 威

平成15年度（2003年度）
熊本県民天文台総会 会順

1. 開会
2. 台長挨拶
3. 来賓挨拶

4. 議長選出
5. 議事

- (1) 平成14年度業務報告
平成14年度会計報告及び監査報告
- (2) 平成15年度業務計画
平成15年度予算案
- (3) 役員改選
- (4) その他の議案

6. 閉会

7. 懇親会

平成15年度役員案

名誉会員

名誉台長	小林 佳之
名誉台長	宮本 幸男
名誉台長	永井 剛
	上西 啓祐
	小山 岑雄
	西岡 鐵夫

台長

艶島 敬昭

副台長

小林 壽郎
中島 尚

理事

荒井 賢三
小林 昌樹
鹿釜 崇裕
白鳥 裕
高田 祐一
立川 正之
徳尾 尚史
中尾 達也
中尾 富作
西嶋 好美
松野 真二
山田 京子
弓立 彰宏

監査

元島 威

平成15年度事業計画

特定非営利活動法人 熊本県民天文台

1. 事業実施の方針

熊本県民天文台は、広く一般市民に対して、天文研究と天文台の一般公開等を通じて、天文知識の普及・向上に努め、理科教育の振興と天文学の進歩に貢献すること、ならびに光害の防止等を通じて環境の保全とまちづくりの推進に寄与することを目的として、年度を通して次の事業を行います

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	収支見込額 (千円)
一般公開	天文台の一般公開 天文台を公開して天体の 観察及び解説を行います	毎週 金・土・ 日の夜	天文台	3～5名 ／日	一般市民等 年間3千人	50
	体験学習・出張観望会 希望地で天体観望等実施 体験学習、イベントでの 電子紙芝居上演等	随時	希望地	1～10名	一般市民・ 学校・PTA 子供会など 年間1000人	
	天文研究 天体観測、天文教育の 研究など	随時	県内 ほか	1～5名	一般市民 学校・PTA 学術団体など	
	解説番組制作・配布	随時	県内 ほか	1～5名	学校・ 公開天文台 教育施設など	
会誌等の 発行	会誌の発行 その他の印刷物 Webページの制作・運営	会誌は毎月 随時 随時	天文台 天文台 県内 ほか	～15名 ／回	会員、他 200／回 一般市民等 同上	250
星空の 見える まちづくり	光害の防止による環境の 保全と、まちづくりの推進 調査・研究と普及・表彰 など	随時	県内 ほか		一般市民 市民団体 企業、自治 体、NPO 法人など	50
その他	上記以外の事業	随時	天文台 その他	適宜参加	一般市民な	0

3. 年間行事計画

月	日	曜	行事名	時間	場所	対象	備考
4	12	土	Talk About	20:00	天文台	会員	
5	11	日	通常総会	13:30	城南町	会員	
	17	土	Talk About	20:00	天文台	会員	
	29	木	金星食	14時頃	各自	それぞれ	
6	14	土	Talk About	20:00	天文台	会員	
	未	日	草刈り&大掃除	10:00	天文台	会員	
7	5	土	星空寄席(柳家小糸ん師匠)	未定	未定	一般	
	12	土	Talk About	20:00	天文台	会員	
8	1 2 3	金 土 日	スターウィーク ～大接近の火星を見よう!～	19:00	天文台	一般	
	9	土	Talk About	20:00	天文台	会員	
	24	日	自然観察会 (大接近の火星を見よう)	19:00	天文台	一般から 募集	県文化企 画課主催
9	11	木	中秋の名月	未	未		
	13	土	Talk About	20:00	天文台	会員	
10	11	土	Talk About	20:00	天文台	会員	
	25	土	自然観察会 (秋の星空)	19:00	天文台	一般から 募集	県文化企 画課主催
11	15	土	Talk About	20:00	天文台	会員	
12	13	土	Talk About	20:00	天文台	会員	
	14	日	自然観察会 (双子座流星群)	19:00	天文台	一般から 募集	県文化企 画課主催
	21	日	大掃除・忘年会	10:00	天文台	会員	
1	10	土	Talk About	20:00	天文台	会員	
2	14	土	Talk About	20:00	天文台	会員	
3	13	土	Talk About	20:00	天文台	会員	

特定非営利活動法人 熊本県民天文台

収支予算書

平成15年4月1日から平成16年3月31日まで

(特定非営利活動に係る事業)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
I 事業活動収入			
1 会費収入	450,000	0	450,000
正会員会費8000円×50人			
友の会会費5000円×10人			
2 事業収入			
①一般公開事業収入	10,000	30,000	-20,000
②星空の見えるまちづくり事業収入			0
③会誌等発行事業収入	25,000		25,000
@500円×50部			
3 補助金収入			
経常収入合計	485,000	30,000	455,000
II 事業活動支出			
1 事業費			
①一般公開事業費	50,000	0	50,000
②星空の見えるまちづくり事業費	50,000	0	50,000
③会誌等発行事業費	250,000	65,000	185,000
2 管理費			
①会議費	30,000	5,000	25,000
②消耗品費	50,000	20,000	30,000
③光熱水費	55,000	15,000	40,000
④通信費	140,000	40,000	100,000
⑤備品費	200,000	13,000	187,000
⑥修繕費	200,000	10,000	190,000
⑦負担金	10,000	10,000	0
⑧雑費	10,000	5,000	5,000
3 予備費	50,000	10,000	40,000
事業活動支出合計	1,095,000	193,000	902,000
事業活動収支差額 (A)	-610,000	-163,000	-447,000
III その他収入の部			
1 寄付金	228,805	0	228,805
2			
その他収入合計	228,805	0	228,805
IV その他支出の部			
1 予備費	300,000	500,000	-200,000
2			
その他支出合計	300,000	500,000	-200,000
その他収支差額 (B)	-71,195	-500,000	428,805
当期収支差額 (A) + (B)	-681,195	-663,000	-18,195
前期繰越収支差額	4,414,412	4,500,000	-85,588
次期繰越収支差額	3,733,217	3,837,000	-103,783

20日 (日)	くもり	3名	山田み、松本	山田♀さん送迎の為だそうです。(松本)
21日 (月)	快晴	ナシ	Tsu	望遠鏡の光軸合わせ。全天の星がまたたく北風の強い夜。でも今夜をのがすと週末まで作業ができそうにないというお天気予報。くたびれていましたが、やって来ました。 鏡のスケアリングが変わった為でしょうか？光軸は合っているようなのに、ファインダがあさっての方向を指し示していて目標の天体を視野（主鏡の）に導入できず、かなりあわてました。でも、プレセペもしし座ガンマも美しかった。(Tsu)
26日 (土)	雨	10名	中島、中尾の、 鹿釜	木星、土星、M104、シリウス、M42 艶島、松本、小林J 熊大天文部、新入生その他、計10名 S2pro、QV-4000、ケータイなど各種デジカメで写真を撮りまくりました。時代はデジカメの方に進んでいます…(中島)
27日 (日)	晴	3家族 12人	艶島、小林M、 高田	木星、土星、ベテルギウス、シリウス、ミザール・アルコル、しし座γ、スピカ、ソンプレロ星雲、電子紙芝居(高田) 会計の決算が出来上がり、点検作業(Tsu) 中島
29日 (火)	晴	なし	Tsu 昼間の作業	午前中草刈。天文台の裏側を中心に一通りきれいになりました。 少し高いけど、超硬チップ刃をうめこんだタイプの刈刈にしたので、力が入らず快適でした！ 得意小惑星氏の事前の草取りのおかげで、作業量も1/3になっていました。ラッキー！！(Tsu)



電子紙芝居

「鰐瀬の湯」が

絵本になりました！

天文台で上演していた民話シリーズの1つを、子供達が地域の歴史や遺跡を学習するのに適していると、城南町が小冊子として出版したものです。

4 月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 9 日/12 日=75.0% 一般来台者数 50 名 会員来台 40 名

日付	天気	来客数	担当運営	記事
1 日 (火)	雨のち くもり		Tsu	望遠鏡の主鏡・斜鏡を取りはずし、荷造り。10 年経ったので再メッキに出します。今日、苗村さんのところから輸送用の木箱が届いたので作業しました。 なんだかんだあって、結局 1 人で作業することになり、大変だった。 主鏡セルはスクリーンの下においてあります。さわらないで下さい。又、望遠鏡のバランスがとれないので、スライディンググループを動かすとぶつかります。屋根をあけないで！(Tsu)
5 日 (土)	はれ	7 人	中島、中尾の、 徳尾、鹿釜	土星、木星、ベテルギウス、M42、M41、シリウス、M45 など(中島)
6 日 (日)	晴	0 名	艶島、松本、 松野	
12 日 (土)	くもり	8 名	中島、鹿釜、 艶島、中尾の	月、木星、土星、シリウス、ベテルギウス 白鳥さん、東海大天文部 4 名来台。 Talk About 艶島、中島、小林 J、小林 M、山田み、山田早、 高田、松本、鹿釜、中尾の 星屑印刷・発送
13 日 (日)	くもり	なし	艶島、小林マ	全天薄曇りですが、お月さんがぼやっと見えている。日本天文学会会費納入の請求書が届いていました。会費支払っておきます。新入会申込書できました。(小林マ)
18 日 (金)	晴れの ち快晴	10 名 (2 家族)	Tsu、立川、 松本	土星、木星、ベテルギウス、シリウス、スピカ、 ミザール、プレセペ、しし座γ 城南町の老夫婦+(若奥さん+孫 2 名)この 3 名はニューヨーク暮らしで只今帰省中。 せっかくの機会だし「流れ星を見たい」というので連れて来たそうで、19 時前には「天文台の前にいるんですが…」と電話が入ってきた。もう一組も、数日前から Tel 問い合わせがあった。転送電話は大活躍しています。 それにしても、本来の運営委員が来てないです。夕方雲は多かったけど、19:20 頃には快晴でした！(Tsu)
19 日 (土)	雨		中島	艶島、中島 主鏡、斜鏡取り付け。19:00~19:40 終了。 早く見てみたいものです。(中島)

桜前線、今ごろ北海道辺りに着いて、そろそろ終りになっているようですが、南国九州は、毎日夏日で暑いです。しかも、もう梅雨？って感じの天気で、スッキリとも晴れてくれないし、水星の日面通過もパー。あの日の夜は雷様も暴れていて、嵐のような天気でした。本当に、晴れって続かないんですね。天文台の41cm反射鏡も再メッキされて、とても良く見えるようになったと言う話を聞いているのに。なんてタイミングの悪い。火星も大接近真近です。ちょっと、その望遠鏡、かせ〜い……。やっぱ雨かな。

☆ 6 月の天文現象 & 行事 ☆

- 1 日 (日) へびつかい座Xが極大 (周期329日 5.9~9.2等)
- 3 日 (火) イがエウパ^oを隠す(20:14 部分食 継続時間4.6分 減光量28%)
水星が西方最大離隔 (24°25.8' 0.6等 視直径08.2")
- 6 日 (金) しし座η星の星食 (九州での潜入は20:27ごろ)
芒種(ぼうしゅ…芒(のぎ)のある穀類の種子を蒔く大切な時期)
- 8 日 (日) 上弦 (05:28)
- 11 日 (水) 入梅
- 12 日 (木) へびつかい座Rが極大 (周期307日 7.0~13.8等)
- 13 日 (金) いて座RTが極大 (周期306日 6.0~14.1等)
- 14 日 (土) 満月 (20:16)
トークアバウト (20:00~ 天文台にて)
- 20 日 (金) くじら座ミラが極大 (周期332日 2.3~10.1等)
- 21 日 (土) 下弦 (23:45)
- 22 日 (日) 夏至(げし…北半球では最も昼が長く、暑気も厳しくなる)
- 23 日 (月) 天王星と火星が接近 (03:03)
- 30 日 (月) 新月 (03:39)

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2003年6月号 通巻339号
 発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226
 熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台
 TEL 0964-28-6060
 振替口座 01980-0-24463
 熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作
 ホームページ <http://astro.magma.ad.jp/>